

ご発注に際してお客さまにご理解いただきたいこと

私たちは「SDGs視点」で環境貢献しています



**E3PA**  
環境保順印刷推進協会  
Eco-Printing Preservation Promotion Association

ご発注に際してお客さまにご理解いただきたいこと

# 私たちは「SDGs視点」で環境貢献しています



## もくじ

・ SDGs は未来への持続可能な開発目標です	4
・ 私たちは7ゴールの実現に協力しています	6
・ SDGs で究極の《CSR》を実現します	8
・ SDGs は企業ブランドの“土台”と考えます	10
・ SDGs のメリットをこのように捉えています	12
・ 環境保護を柱に SDGs を推進しています	14
・ 大気汚染をなくし《澄んだ空気》を	16
・ 水質を汚さずに《きれいな水》を	18
・ CO2 を削減して温暖化防止を	20
・ 資源の有効活用で森林再生を	22
・ 高い経済生産性で働きがい	24
・ 印刷技術で環境保全の徹底を	26
・ このように SDGs を実行していきます	28
・ SDGs でお客さまの期待に応えていきます	30
・ 私たちは [SDG s] の視点で《社会貢献》しています	32
・ ビジネスの力で [SDG s] を達成、持続可能社会は地球環境への配慮	34

# ■SDGs は未来への持続可能な開発目標です

国連が採択した SDGs とは「誰一人取り残さずに世界の国々、人びとが豊かさを享受できるように、地球環境を守りながら未来社会の創造に向けて、2030 年までに目標を達成していく」という目的で策定された行動指針のことです。国際目標として定められたこの文書の標題には「私たちの世界を変革する」とあり、そこには、貧困、健康、教育のほか、経済成長、産業化、生産消費形態をも含むあらゆる領域の世界的課題が掲げられています。このなかには当然、地球環境の保護も網羅されています。

提唱者である国連機関はもちろんのこと、日本を含む各国政府、世界中のあらゆる自治体、NGO、それに企業などの民間組織が一丸となって取り組むことが要請されています。「今のままでは社会は持続できない。地球は生き残れない」という深刻な危機感があるからこそ、全人類が合意した目標なのです。

目標は合意されましたが、達成をめざす取り組みは個々の行動に委ねられています。とくに重要とされているのが、数の多い民間企業の参画です。社会のあり方や環境保護などに留意しながらビジネスをおこなってほしいと期待されているのです。

4



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

## ●持続可能な開発目標<<SDGs>>とは

2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。

すべての国の社会課題を対象とした17のゴールと、その課題ごとに設定された達成基準である169のターゲットから構成されています。このゴールとターゲットによって、包括的で持続可能な社会の構築をめざすものです。

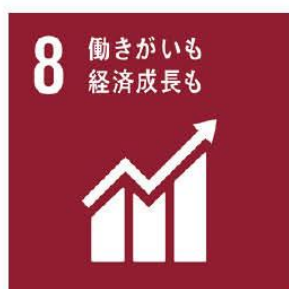
# ■私たちは7ゴールの実現に協力しています

私たち環境保護印刷推進協議会では、<環境貢献>の観点から SDGs が掲げた 17 の目標のうち関連する 7 目標 (ゴール) の実現に尽力しています。これらの目標達成に協力しながら印刷ビジネスを展開することで、環境保護をベースとしたサステナブル社会の実現に貢献していきたいと考えています。

私たちは、以下の 7 ゴールに取り組んでいます。日本は環境保護の取り組みで世界からの評価が低く、それだけに課題が多いとされています。協力しがいのある分野です。

- ・ゴール 6 「安全な水とトイレを世界中に」= 廃液回収で生活環境の向上に協力
- ・ゴール 8 「働きがいも経済成長も」= 環境保護につながる価値ある製品づくりを
- ・ゴール 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」= 環境負荷のない生産工程を確立
- ・ゴール 12 「つくる責任 つかう責任」= 環境にやさしい印刷製品で生活者に安心を
- ・ゴール 13 「気候変動に具体的な対策を」= CO<sub>2</sub> の削減で地球の温暖化防止に寄与
- ・ゴール 14 「海の豊かさを守ろう」= きれいな水と澄んだ空気を認証基準に実践中
- ・ゴール 15 「陸の豊かさを守ろう」= 環境にやさしい紙を採用して森林保護に貢献

6



## ●「印刷環境憲章」(私たちの考え方より抜粋①)

かけがえのない地球環境を保全するために、印刷産業が取り組むべき課題と役割は数限りなくあります。原材料の低減、産業廃棄物の削減、省エネ化、リサイクル化など、「循環型社会」の実現に資する諸対策をあらゆる角度から講じなければなりません。なかでも「空気」と「水」を汚さない方法、「地球温暖化」を防ぐ方法に焦点を当て、印刷物を製作する工程でゼロエミッションを達成していくことは、私たち印刷業に従事する者が実行すべき環境負荷低減の根幹であると考えます。

# ■SDGsで究極の《CSR》を 実現します

印刷会社は、直接の顧客だけでなく顧客の顧客（消費者／生活者）に対しても、社会的責任《CSR》を負っています。お客さまも企業としてその重要性を認識し、取引先である印刷会社に協力を求めていると思います。印刷会社は、お客さまが果たしたいと願っている責任の一翼を担っていかねばなりません。

環境問題をはじめさまざまな社会的課題は、企業自らが影響力を発揮してその解決に乗り出さなければならなくなっています。国に任せておけばいいという時代ではありません。自社のビジネスとして社会的な課題の解決に取り組む必要があります。

印刷会社自身が、例えば環境貢献をめざす経営方針をきっちり確立したなら、お客さまの絶大な信頼を得て《CSR》を大きく前進させることができます。《CSR》を完遂するためにも、環境保護に関する行動規範を遵守していくことをお約束します。

このとき、お客さまと印刷会社の共通の基盤となるのが、他ならぬSDGsです。SDGsをベースにお客さまと連携しながら活動し得た結果として、私たちは究極の《CSR》を果たすことができると考えています。



## ●SDGsで広がる可能性

- ・企業イメージの向上—信用の確保、多様な人材の確保
- ・社会の課題への対応—経営リスクの回避、社会への貢献、地域での信頼獲得
- ・生存戦略になる—ビジネスにおける取引条件の可能性、持続可能な経営戦略
- ・新たな事業機会の創出—地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得

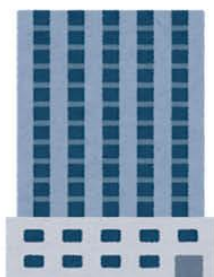
# ■SDGsは企業ブランドの “土台”と考えます

社会の信頼を得てビジネスを長期的に継続させるには、企業ブランドを確立して、共感してもらえる存立基盤を強化することが欠かせません。環境保護印刷推進協議会が定める「クリオネマーク」には、顧客に認めてもらえる強いブランド力が備わっています。このブランド力を一層高めようと、私たちは環境貢献をキーワードとしたブランディング活動を展開して、《CSR》を本物にしようと取り組んでいます。SDGsと《CSR》、企業ブランドの三位一体の関係を成り立たせるためです。

環境貢献を柱とする企業ブランドの確立—その実現をめざして、環境保護—環境対策—環境貢献のプロセスを推進するために「環境経営」を実践しています。ブランディングの展開は、こうした流れを容易にしてくれます。SDGsを実行することで、お客さまから信頼される真の企業ブランドが築けると考えます。

実際に製作している「環境にやさしい印刷製品」を、お客さまに採用していただくことに大きな意味があります。お客さまとともに一般社会や消費者の方々に認めてもらえるものと確信しています。

10



## ●SDGsに関わる企業の役割

- ・企業はSDGsを達成するうえで重要なパートナーとなる
- ・企業は各社の中核的なビジネスを通じてSDGsに貢献することができる
- ・すべての企業はビジネスがもたらす影響を評価される
- ・企業は意欲的な目標を設定し、実行の成果を透明なかたちで周知することを求められる

# ■SDGsのメリットを このように捉えています

社会的な課題の解決に取り組むうえで、企業はその社会から重要なパートナーだとみなされています。とくにSDGsに関しては、企業の役割がきわめて重要だとされ、得意とする事業活動を通して貢献してほしいと望まれているのです。

環境問題や社会的課題を念頭にビジネスをおこなえば、社会や消費者から受け入れられ、課題解決するうえで必要となる新しい市場に仲間入りさせてもらえます。企業が意欲的な目標を設定し、取り組みの成果を透明なかたちで公表していけば、ステークホルダーの皆さんから暖かく迎え入れてくれることでしょう。

企業として理解すべきは、SDGsを共通のビジネス基盤に据えれば、市場開発や受発注の機会などのビジネスチャンスを広げやすくできるということです。

私たち印刷会社も例外ではなく、自社の強みを活かしながらお客さまにとって有益な「環境にやさしい印刷製品」を提供させていただく努力をしています。SDGsをお客さまとの共通理念とすることで、同じ目標に向けてお互いのビジネスを発展させていけると確信しています。

12



社会問題

環境問題



## ●SDGsに取り組む理論的根拠

- ・ 将来のビジネスチャンスの見定め
- ・ 持続可能性に関わる価値の向上
- ・ ステークホルダーとの関係強化
- ・ 社会と市場の安定化
- ・ 共通言語の使用と目的の共有

# ■環境保護を柱に SDGsを推進しています

地球環境を保護するために、印刷会社を取り組む課題と役割は数多くあります。あらゆる産業と一緒に原材料の低減、産業廃棄物の削減、省エネ化、リサイクル化など、循環型社会の実現に役立つ諸対策を講じなければなりません。何より水と空気を汚さない方法、地球温暖化を防ぐ方法に焦点を当て、印刷物を製作する工程でゼロエミッションを達成していくことが重要だと考えています。

そこで、印刷現場で発生する環境に対する影響を把握し、環境負荷を大幅に低減することに力を注いでいます。実際に、環境に配慮した印刷物の製作を通じて社会の要請に応え

ることは、SDGs 実践の基本の基本だと考えています。

印刷製品の製作工程は、完成品を市場に直接出す一般的な製品と異なり、そもそも発想・企画の段階からお客さまの業務フローに組み込まれています。印刷会社が自社の製作工程で環境対応すること自体、お客さまの環境マネジメントを構成しています。そうした観点から環境保護印刷推進協議会では、各種の認証制度を設けて環境保護のための明確な達成基準を定め、お客さまとともに SDGs に加わる条件を整えています。



12 つくる責任  
つかう責任



## ●ゴール12「つくる責任、つかう責任」

◎持続可能な生産と消費の形態を確保する

12-4 製品のライフサイクルを通じて、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減し、人の健康への悪影響を最小化する

12-5 廃棄物の発生防止、再生利用ないし再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する



# ■大気汚染をなくし 〈澄んだ空気〉を

大気を汚染する有害物質、とくに揮発性有機化合物 VOC が問題視されています。印刷産業においても、VOC を含んでいない資機材・薬品の使用、除去装置の導入などがきわめて重要だと考え、排出抑制に努めています。

環境保護印刷推進協議会が制定している「オフセット印刷認証制度」では、具体的に VOC を含んだインキや湿し水、刷版処理液、洗浄剤を使わず、排気処理も適正におこなうといった達成基準を定め、会員企業に完全履行を促しています。厳しい自主規制で《澄んだ空気》と《きれいな水》に貢献しているのです。

こうした条件のもとに製作された「環境にやさしい印刷製品」をお客さまに提供することで、SDGsがゴール12で提言している目標「持続可能な生産消費形態を確保」に協力しています。

認証基準に沿った印刷物をご採用いただくことは、お客さまもサステナブル社会の実現に参画されたに等しいわけです。印刷会社として「つくる責任」を果たしていますので、お客さまには「つかう責任」を果たしていただければと思います。



## ●空気と水を汚さない責務

地球にやさしい自然環境を守ること、なかでも〈空気〉と〈水〉を汚さない印刷生産方法を確立することは、印刷会社が果たすべき最大の責務です。オフセット印刷工程で「ゼロエミッション」を実現するための必須条件は、①澄んだ空気のために VOC を含んだインキや刷版処理液を使わない、②きれいな水のために排液の循環再利用を前提とする、そして③CO<sub>2</sub>削減で地球温暖化防止に貢献する——ことで、私たちが取り組む環境保護活動の根幹としています。

# ■水質を汚さずに 〈きれいな水〉を

大気への影響と同じくらい重要視されているのが水質への影響です。有害物質の浄化処理、流出防止のために、印刷工場は積極的に、刷版・印刷の各工程で発生する全ての廃液を、適切に回収・処理することに努めています。

刷版工程で使用される強アルカリ性の現像液をなくすため、現像処理液を必要としないCTP、アルカリ現像以外の処理方法でおこな

う CTP システムを導入しています。また、オフセット印刷工程で用いる湿し水についても、濾過装置を循環経路内に組み込んで湿し水の交換頻度を少なくし、発生する廃液量も極力減らしています。

水と海をきれいにするべく、印刷会社の立場で水質の汚染防止に全力を尽し、SDGs の理念に応えていることをご理解ください。



## ●ゴール6 「安全な水とトイレを世界中に」

- ◎すべての人びとが水と衛生を利用でき、かつ持続可能な管理を確保する
- 6-3 水質汚染の減少、有害な化学物質の排出削減、未処理の下水の半減ならびに安全再利用を世界全体で大幅に増加させ、水質を改善する



## ●ゴール14 「海の豊かさを守ろう」

- ◎海洋とその資源を保全し、持続可能なかたちで利用する
- 14-3 あらゆるレベルの科学的協力を促進して、海洋酸性化の影響に対処し最小限に抑える



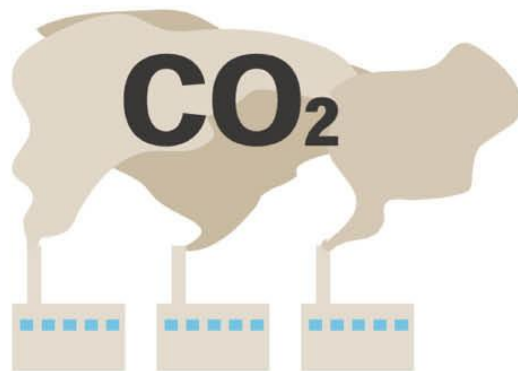
# ■CO<sub>2</sub>を削減して 温暖化防止を

CO<sub>2</sub>削減の取り組みは、私たち印刷会社が実践する環境対応型のビジネスモデルとして確立され、企業経営にとって欠かせない柱となっています。

環境保護印刷推進協議会が制定している「CO<sub>2</sub>削減貢献度認証制度」は、電力使用量がCO<sub>2</sub>排出に大きな影響を与えるという視点に立っています。具体的には省エネを重視して、電力使用量の削減を指標に全社的な改善活動を評価し、その経営努力を環境貢献度に反映させています。

とくに印刷工場で使用する電力消費を真正面に据え、目標とする貢献度を達成するための生産管理、工場管理の徹底を期しています。その理由は、生産効率の追求、工場経営の合理化により消費エネルギーを減らすことが、CO<sub>2</sub>の削減に直結する効果的な対策となるからです。

納品する「環境にやさしい印刷製品」を通して、お客さまに地球温暖化の抑制に寄与していただくこととなります。これこそSDGsの精神にマッチした、印刷会社レベルで協力できる有効な取り組みであると考えています。



## 13 気候変動に 具体的な対策を



### ●ゴール 13 「気候変動に具体的な対策を」

◎気候変動およびその影響を軽減するために緊急対策を講じる

13-2 国別の政策、戦略および計画に気候変動対策を盛り込む

13-3 気候変動の緩和および早期警告に関する教育、啓発、人的能力、機能を強化する

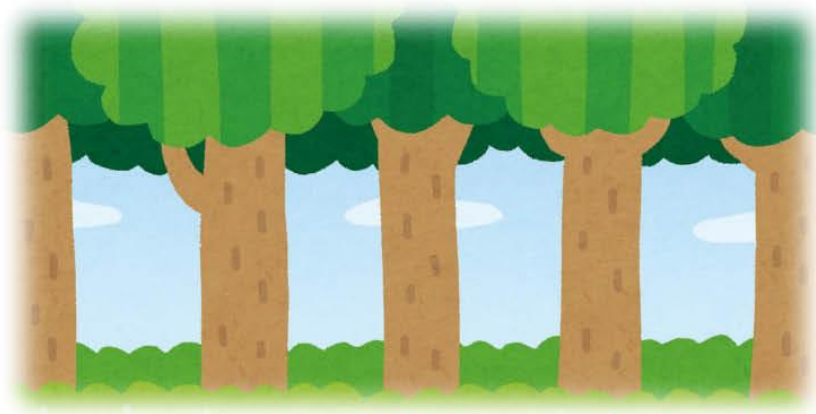
# ■資源の有効活用で 森林再生を

森林管理—製紙—印刷のプロセスは、持続可能な社会の実現に大いに寄与しています。印刷産業はそこに参画している立場を自認して、「環境にやさしい紙」を積極的に採用し、かつ印刷工程上のムダ・ロスの防止などに努めています。

地球資源の有効利用と産業廃棄物の削減、再資源化は、印刷会社が環境保護に取り組むうえでもっとも基本的な対応策です。①リデュース②リユース③リサイクル——のいわゆる「3R」に力を注いでいるのはいうまでもありません。

例えば日々の生産活動のなかで、印刷用原材料の削減や使用済み資材の分別回収などに取り組んでいます。同時に、営業活動を通じて「リサイクル対応型印刷物」の制作を推し進めています。印刷済みの紙や雑誌古紙をもう一度、印刷用紙や事務用紙に使ってもらうための古紙再生の循環システムの一画をも担っています。

印刷会社は、森林資源の適正な管理が非常に有効な環境対策であることを十分に理解しています。適正に古紙が配合された再生紙を採用しているのも、その一環です。このようなさまざまな角度から、SDGsが掲げる目標に尽力しています。



15 陸の豊かさも  
守ろう



## ●ゴール 15 「陸の豊かさも守ろう」

◎陸域生態系の保護と回復、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、土地の劣化の防止と回復ならびに生物多様性の損失を阻止する

15-2 森林の持続可能な管理を実施して森林破壊を阻止し、劣化した森林を回復させ、世界全体で植林と森林再生を大幅に増加させる

# ■高い経済生産性で 働きがいを

環境保護印刷協議会が制定している環境マーク「クリオネマーク」の意義を、会員である印刷会社が社内で共有することで、社員の働く意欲が高まり率先して実行してくれる社風が培われます。社内のモチベーションが向上すれば、高品質・高付加価値型の「環境にやさしい印刷製品」にこだわりをもってくれる社員が育ちます。

社員に働きがいをもってもらえる職場にすべく、経営者自身も環境に貢献したいという熱意で経営方針を貫き通していく覚悟です。環境保護に取り組む企業姿勢を全社レベルに高めることで、SDGs への協力が確かなものとなります。

お客さまと消費者のために、優れた技術や品質を可能にする生産能力に、環境対応という付加価値を乗せることが大切だと考えています。そうすれば、必然的にお客さまのご要望に沿うことができるはずです。

お客さまから高い評価を得る過程で、私たちの営業活動のなかに「安心して発注していただきたい」という自信が芽生えるでしょう。自社が手がけている「クリオネマークを付けた高品質の印刷製品でお客さまをお守りする」ことを約束いたします。



## 8 働きがいも 経済成長も



### ●ゴール8 「働きがいも経済成長も」

◎包括的かつ持続可能な経済成長、 および全ての人の完全かつ生産的な、働きがいのある人間らしい雇用を促進する

8-2 高付加価値部門や労働集約型部門に重点を置き、 多様化、 技術向上ならびにイノベーションによる高いレベルでの経済生産性を達成する

# 印刷技術で 環境保全の徹底を

企業は、イノベーションによってSDGsが問題提起する社会的課題の解決に尽すことが求められています。企業の強みは、自らを変革できるイノベーション能力をもちていることですが、SDGsの提言に応えるには、新しいビジネスモデルを確立して有益なソリューションを提供する、といった明確な方向づけが必要です。

環境保護印刷推進協議会には、すでに「環境保護印刷に関する技術の向上・普及によって、地球環境の保全と印刷の生産性向上、品質向上との両立をはかり、産業全体のサステナブルな発展を推進する」という基本方針があります。

そして、認証基準には「環境に適合した最新の生産設備や資材を使用すること」という条件が付いています。それを実行に移すことで、高品質な印刷が可能になるのはもちろん、必然的に生産効率が高まりコスト削減にもつながるようになっていきます。

私たちの認証制度は印刷現場に非常に近いことが、大きな特長といえます。環境対策が生産の標準化、システム化に繋がりますので、実践するにつれて生産改善の効果が発揮されます。そのままお客さまのニーズに応えられる体制となっているのです。



## 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう



### ●ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくらう」

◎強靱なインフラの構築、包摂的かつ持続可能な産業化およびイノベーションの拡大を図る

9-4 資源利用率の向上、環境に配慮した技術、産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改革により、持続可能性を向上させる

# ■このようにSDGsを 実行していきます

私たちは、SDGsの精神を経営理念や経営方針に織り込みながら、次のようなステップを踏んで実行していきたいと考えています。

- ・SDGsが掲げるゴールと自社の現状（水準）との差、違いを把握する
- ・中長期的な視野で、かつ可能な領域で発展のチャンスを模索する
- ・明確になった課題を自社のビジネスソリューションとして解決する

社内の取り組みだけでは、決してSDGsの成果をあげることはできません。お客さまも交えたビジネスチェーンのなかで、どの分野の事業活動がSDGsにとって重要であるかを

考える必要があります。印刷会社はお客さまの発注先としてサプライチェーンのなかに組み込まれていますので、“仲間”に入れていただかなければなりません。

私たちは、環境保護を柱に自社の能力に見合った持続可能な取り組みを貫くつもりです。SDGsを発展のためのチャンスととらえると同時に、お客さまに「環境にやさしい印刷製品」を生かしたマーケティング提案ができるよう努力いたします。SDGsの理念を共有しながらパートナーシップを築いていけるよう全力を尽くします。



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

## ●企業の行動指針

1. SDGsを理解する
2. 優先課題を決定する
3. 目標を設定する
4. 経営へ統合する
5. 報告とコミュニケーションをおこなう

# ■SDGs でお客さまの期待に 応えていきます

私たち印刷会社は「環境にやさしい印刷製品」をお客さまに提供することで、SDGsが掲げるゴールの幾つかに寄与できるという自覚をもちながら、日々の仕事に取り組んでいます。企業である以上、長期的視点で社会や顧客のニーズに応えていかなければならないのですが、その土台こそがSDGsであると何度も再確認しています。

お客さまや消費者の方々に、「環境にやさしい印刷製品」の良さをより一層理解していただけるよう、〈環境貢献〉の成果を印刷製品の使い勝手や品質、価格面に結びつける努力し

ています。そのためにも、お取引いただいているお客さまとの密接なコミュニケーションが欠かせません。

先にもお話ししたように、SDGsをベースに協働することによって、お互いに新たな市場開拓などのビジネスチャンスを見出すことができるのではないのでしょうか。

私たちが制定している各種の「認証制度」はまさにSDGsへのコミットメントそのものです。環境保護を通してSDGsあるいは〈CSR〉を実践したいとお考えのお客さまと、共に歩んでいけることを願っています。



## ●「印刷環境憲章」(私たちの考え方より抜粋②)

環境配慮の取り組みは、〈環境経営〉の実践を通じて企業を発展させてこそ初めて可能となります。これらの責任を遂行し得て結果として、印刷産業は「企業の社会的責任」(CSR)を果たすことができると同時に、サステナブル(持続可能な)社会の実現に向けて貢献し続けられるものと考えています。



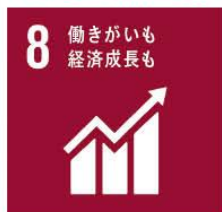


# 私たちは[SDGs]の視点で《環境貢献》しています

-2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み-

## ▶Non-VOC ▶Non-DRAIN ▶Low-CO2

●人にやさしい企業文化  
環境を意識した社員を養う



8 働きがいも  
経済成長も  
社員のモチベーションを高め  
環境保護につながる価値ある  
製品づくりを可能にしています

●強固なビジネスの構築  
「イノベーション」を実現する



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう  
環境に適合した最新の印刷  
機資材により、環境負荷のな  
い生産工程を確立しています

●持続可能な生産と消費  
廃棄物を循環資源と考える



12 つくる責任  
つかう責任  
環境にやさしい印刷製品を  
製作し提供することで、生活者  
の願いにお応えしています

●未来への「低炭素社会」  
工場を省エネルギー化する



13 気候変動に  
具体的な対策を  
電力使用量を指標にCO2削減  
への貢献度を認証し、地球温  
暖化防止に寄与しています

●水質から始まる海の保全  
排水を出さない方針を貫く



14 海の豊かさを  
守ろう  
〈きれいな水〉と〈澄んだ空気〉  
を認証のキーワードに、水と大  
気の汚染防止策を実行中です

●森林再生と生物多様性  
紙を大事に扱う気概をもつ



15 陸の豊かさも  
守ろう  
森林資源の保護に資する再  
生素紙を採用し、リサイクル対応  
型の印刷をおこなっています

●ゴール<6>「安全な水と衛生」; 廃液を回収することを認証基準に、生活環境の向上に協力しています

## ビジネスの力で「SDGs」を達成、 持続可能社会は地球環境への配慮

いま地球の未来を考えると、環境対策や社会問題への取り組みとして国連が掲げる「SDGs」(持続可能な開発目標)への関心が高まってきています。

わたしたち印刷企業が貢献できる取り組みがあれば、それはどんなにすばらしいことではないだろうか。ビジネスの力で「SDGs」を達成し、地球環境への配慮するような【事業】が広がればと考えています。

環境保護印刷推進協議会はその姿勢を持ち、向き合う業界組織でありたいと考えています。

国連が採択した持続可能な開発目標 [SDGs] を推進するために、企業は重要なパートナーとみなされています。[SDGs] の実現に向けて、企業の立場で取り組むべき課題は数多くあるのですが、なかでも環境保護+社会貢献+企業統治の3項目を意味する[ESG]に関心が集まっています。さまざまな事業環境のなかで多様なビジネスをおこなっている印刷会社も、当事者であることを意識せざるを得ません。

環境保護印刷推進協議会では、何よりも環境に貢献するという観点から、私たちの活動に関連する7つのゴールの達成に協力しています。これらの取り組みを通して、印刷会社に課せられている企業の社会的責任<CSR>を果たしていく覚悟です。

私たちは《澄んだ空気/きれいな水》をキーワードに、各種の認証制度を設けて環境保護のための明確な達成基準を定め、顧客各位とともに[SDGs]に加われる条件を整えています。印刷製品の製作に伴って発生する環境に対する影響をしっかりと

把握し、環境負荷を低減する努力を怠ってはならないと自認しています。「環境にやさしい印刷製品」の製作を通して社会における役割を果たすことが不可欠であり、顧客各位と共に実践していきたくと考えています。

顧客各位との共通の目標となっている[SDGs]を根底に置いた環境保護の取り組みは、印刷会社が<環境経営>の実践でビジネスを発展させてこそ可能となるはずです。[SDGs]を基調に環境貢献をめざすという企業経営がきちり確立できれば、顧客各位から絶大な信頼を得ることができます。それによって、印刷会社の企業ブランドの向上につながっていくなら非常に喜ばしいことです。

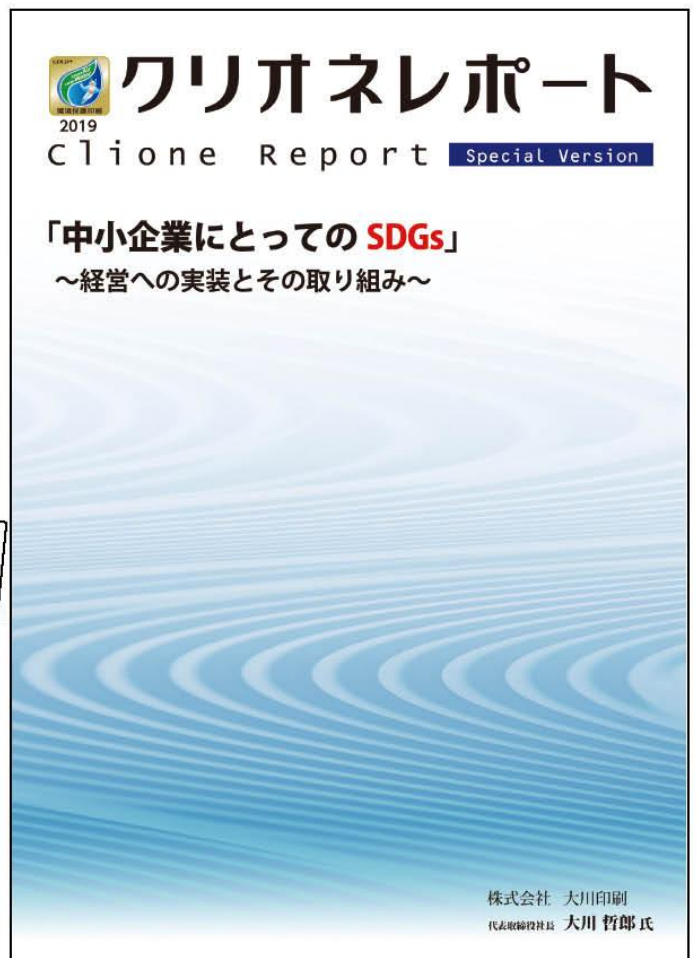
このように、印刷会社として[SDGs]を掲げどこに環境保護に取り組んだ結果、私たちは究極の<CSR>を果たすことができ、そして、自信をもってサステナブル社会の実現に寄与し続けられることでしょう。

環境保護印刷推進協議会

# ■ビジネスの力で「SDGs」を達成、 持続可能社会は地球環境への配慮

私たちは 2018 年度定時総会で「第3のステージは《成熟期》に入ったという認識のもと、環境保護印刷推進協議会としての新たな方向性と明確な役割を見出していく方針である。と打ち出し、これを機に私たちはさらに高いレベルでの事業活動を目指すべく、改めて社会的責任と持続可能な開発目標（SDGs）に関係します小冊子、リーレット類を発行し、情報提供に努めて参りたいと考えています。

会員企業へだけに止まらず、業界内外に向けて情報の発信をしたいと考えています。その一環としてさきごろ、会員向けに【SDGs 研鑽用】の小冊子（左上）を作成することとなり、公益財団法人日本自然保護協会と環境保護印刷推進協議会の共同執筆で冊子「『SDGs視点』で環境貢献しよう』—《CSR》を完璧に果たすために—」をまとめました。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



私たちは「SDGs視点」で  
環境貢献しています



E3PA 環境保護印刷推進協議会

検索

TEL.03-3553-5681  
FAX.03-3553-5684

〈事務局〉〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 ㈱日本印刷新聞社内

